



ふれあい通信

2023/8/23 第20号
(一社) 熊本県労働者福祉協議会



立秋が過ぎましたがまだまだ厳しい暑さが続いています。みなさん如何お過ごしでしょうか。

8月15日 第二次世界大戦の終結の日でした。1945年(昭和20年)8月15日正午の昭和天皇による玉音放送をもって改めてポツダム宣言受諾を表明し、戦闘行為は停止された日です。同日NHKスペシャルで「Z世代と戦争」若者は戦争についてどう考えている?」が放映されていました。それに先立ち、NHKは3,000人のZ世代へアンケートを実施しています。アンケートは「10年以内に日本が戦争に巻き込まれる可能性はあると思うか」「もし巻き込まれたら」「この世界から戦争はなくせると思うか」「平和の実現に向けてあなたにできることは」「太平洋戦争について知りたいことは」等の設問です。

紙面上アンケート結果は割愛しますので、是非、以下のURLからご覧ください。

<https://www6.nhk.or.jp/nhkpr/post/original.html?i=39549>

太平洋戦争の終戦から78年。戦争の悲惨さを語る人がいなくなり、直接戦争を経験していない世代が大多数となっています。このような中「高校生平和大使」は、核廃絶を求め日々頑張る戦士を決してしてはならない、私たちは「微力だけど無力ではない」と啓発活動を行っています。今、国会の議論においては、軍事的な脅威に対して「まずは安全保障」とし、核軍縮や核廃絶に向けた機運は乏しい状況にあると思います。「核抑止力」といいますが、本当にそれで平和が成り立つのか、今一度私たちも考えなければと思います。

一方では、防衛装備品の輸出ルールについて定めた「防衛装備移転三原則」をめぐり、ウクライナを念頭に、侵略を受けている国への支援を目的に見直しに向けた協議が行われています。そもそも防衛装備移転三原則の見直しをしてまで、今なぜ武器輸出拡大をする必要があるのでしょうか。政府は、国民に対して、丁寧な説明をする必要があるのではないのでしょうか。

また、政府が進める2023~27年度の5年間の防衛費の大幅増に関し、実際の規模は60兆円近くに膨れ上がると言われています。保有を決めた敵基地攻撃能力(反撃能力)向けのミサイルや戦闘機などの高額兵器を一気に増やすことが影響しており、防衛費のさらなる膨張につながる恐れがあります。今日本は、「新たな戦前」と言われています。平和ボケと言われて久しい日本ですが、戦争ができる国へと衣替えしているのでしょうか。皆さんはどう考えますか。

さて、今月号のひと言コーナーは、上益城地区労福協 渡邊新事務局長から多忙な中寄稿いただきました。以前、上益城地区では、アジア・アフリカに支援のお米を贈ったり様々な活動を行っておられました。今、新たな運動を模索しながら活動を行っておられます。

是非ご一読いただき、上益城地区労福協の取り組みを知っていただき、各々の活動の参考にしていただければと思います。

【1】ひと言コーナー

上益城地区労福協事務局長の渡邊です。

上益城地区労福協では、「みんなで、生きる、働く、ケアする 上益城地域の福祉をつくろう」をスローガンに、今年度は下記の活動方針のもと活動します。

- (1) 今後とも「労福協」に関する基礎的学習を初めとした学習活動の充実に努め、会への理解を深め、組織運営、活動の強化、充実に向け労働者福祉運動を担う次世代リーダー人材を育成し、その力を発揮出来る「上益城地区労福協」を目指します。
- (2) 上益城地区労福協に賛同する労働団体と各福祉事業体との相互理解の上に、連携、交流を深め利用促進を行い、基盤強化を図ると共に、上益城に働く労働者の生涯福祉の充実に目指した活動の活性化に向け取り組みを推進します。
- (3) 上益城地区住民は勿論、自治体との係わりを密にし、地域社会発展の一翼を担うべく責任ある活動に努めると共に、地域福祉に関する政策制度課題の改善に努めます。
- (4) 定期的に合同幹事会を開催し同時に、連同上益城地区連絡会との連携を強化します。
- (5) 上益城地区労福協の強化を目的に現職者・退職者共に参加する会員相互の交流学習会、文化・スポーツ活動、行事等に取組みます。

また、今までの主な活動（行事）について紹介します。

(1) 学習会の取組み

例年、天草、宇城、上益城の3地区労福協で合同学習会を開催していましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、合同学習会の開催を断念し、合同三役会にて各地区の活動状況と今後の活動について協議を行いました。

今後の課題としては、現職者・退職者共に参加する交流事業への取組みの必要性が挙げられますが、よりよい体制を追求しながら、福祉事業の取組みを行っていきたいと考えています。



(2) 幹事会の定例開催と充実

昨年度は、合計 3 回の幹事会を連合熊本上益城地区連絡会と合同で開催し、連携して各種活動を実施することが出来ました。

今後もよりよい活動ができるように、必要な会議を開催していきます。

(3) 情報宣伝、教育宣伝活動の充実

教育宣伝活動を行うことは出来ませんでした。今後開催される教育宣伝セミナー等に積極的に参加し、連海上益城地区連絡会と連携して、広報活動等に力を入れていきます。

(4) 列島クリーンキャンペーンの取組み

例年、山都町の八朔祭において JT 日本たばこ産業と共同で「ひろえば街が好きになる運動」を実施し、祭り見物の方等の参加を頂き清掃活動へ取り組んでいきましたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響もあり、規模が縮小され、要請がなかったため、御船町のふれあい公園や役場周辺で実施しました。

参加人数 上益城の会員：13名 家族：4名 合計：17名



(5) 7才の交通安全プロジェクトの取組み

こくみん共済 coop のプロジェクトに労福協として共同で7才の交通安全マップを郡内5町の教育委員会に寄贈しました。また、マイカー共済見積り1件につき、1本の横断旗を寄贈する取組みについては、引き続きマイカー共済見積りの活動を推進していきます。



【2】中央労福協活動コーナー

《継続でご案内いたします》

生活・就労応援基金（ろうふくエール基金）について改めてお知らせいたします。身近なところで、コロナ禍で苦しむ方々を支援している団体等に是非ご紹介ください。

基金の目的

基金を呼び水として、地方労福協が軸となり労働組合・協同組合・市民団体等とともに、コロナ禍で苦しむ人たちに対する生活・就労支援活動を地域で促進することを後押しする。この取り組みを通じ、組合員・市民の共感を広げ、労働者福祉運動の役割発揮につなげる。

■就労支援、職業訓練、雇用創出、居住支援などの事業への助成

熊本県労福協が対応できるものは以下の支援Bです。

・支援対象B

コロナ禍に対する生活や就労の支援を目的として、地方労福協が実施もしくは関与する事業や活動。

例えば、各地域で事業団体が行う学生生活支援・フードバンク事業・子ども食堂事業等との連携、民間団体・NPO等が行う困窮家庭等への支援活動との連携など。

- ・「関与する」とは、一緒に活動すること、事業・活動に共感し寄付を集めること、事業・活動を応援、推薦、紹介すること等を含む。
- ・コロナ禍対応に特化した事業・活動だけではなく、就労支援、職業訓練、雇用創出、居住支援などを行うなかでコロナ禍対応を行っている事業・活動も対象となる。

・助成額

1団体の助成上限額 **支援対象B 20万円**

【3】南部労福協活動コーナー

「労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」を開催します。

開催日時 2023年8月25日（金）14時30分～26日（土）12時00分

開催場所 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

講座内容（スケジュール）

8月25日

時間	スケジュール	あいさつ・講師
14:30～14:35	開会	進行 浦本事務局長 南部労福協幹事 假野耕司
14:35～14:45	主催者あいさつ 中央労福協あいさつ	南部労福協・友田孝行会長 中央労福協事務局長 南部美智代 様
14:45～15:45	講演 1 労働者自主福祉運動のこれまでとこれから	中央労福協 事務局長 南部美智代 様
15:45～16:00	休憩	
16:00～16:30	報告 1 労働者福祉協議会（労福協）と連携した 社会問題（奨学金）に対する取り組みについて	九州労金事業部福祉金融推進課 課長 稲用 清孝 様

16:30~17:00	講座1 九州ろうきんDVD視聴 「正しい金融知識で生活防衛～銀行カードローンの現状～」	九州労金熊本県本部
17:30~19:30	夕食・懇親会	

8月26日

時間	スケジュール	あいさつ・講師
9:00~10:30	講演2 性から考える個人の尊厳	はみんぐ法律事務所 弁護士 阿部広美 様
10:30~10:40	休憩	
10:40~11:10	報告2 これからのくろうきん運動>について ~会員と共にコロナ禍を乗り越えて~	沖縄県労働金庫 経営統括部 経営企画課 知花 桐子 様
11:10~11:40	報告3 こくみん共済 coop (全労済) の成り立ちと 火災共済・自然災害共済	こくみん共済 coop 九州統括本部 事業推進部推進企画課 課長 松本 周士 様
11:40~11:45	閉会あいさつ	南部労協幹事 松村章嗣
11:45~12:00	アンワケート記入後解散	

【4】県労協活動コーナー

(1) 熊本県労協第5回次世代リーダー研修・交流会について

日時 2023年9月16日(土) 14時00分～

場所 熊本県労働者福祉会館大会議室

目的 県労協を構成する会員組織と連携し、これまで培われてきた運動とその成果を踏まえ、新しい労働者福祉運動の構築にむけて、労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史を伝承する者(講師・リーダー)として、職場・地域においてリーダーシップを発揮して労働者福祉運動を牽引するとともに、新たな創造を担うリーダーを育成すること、そして参加者間の交流・融和を図ること。

要請数

○連合熊本構成組織 32名

○福祉事業体 九州労金熊本県本部 6名 こくみん共済 coop 熊本推進本部 6名

講座内容 各福祉事業体から労働者福祉運動について、連合熊本から労働運動について

講師 九州労働金庫熊本県本部 本部長 峯 潔 氏

講師 こくみん共済 coop 熊本推進本部 本部長 園田 海舟 氏

講師 日本労働組合総連合会熊本県連合会 会長 友田 孝行 氏

(2) 連合熊本・熊本県労協合同研究集会について

日時 2023年11月29日(水) 13時30分～

場所 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

テーマ 熊本の地下水について考える(案)

講師 熊本大学名誉教授 熊本県環境審議会会長 嶋田 純氏

半導体製造企業の進出により、大量の地下水が取水されること、そしてその排水について、様々なところから、熊本の地下水への影響等を懸念する声が上がっている。このことから、熊本の地下水に造詣が深い研究者を招聘し講演をいただくこととした。2020年度から、研究集会のテーマを「持続可能な社会の実現」というSDGsの目標に副ったものとして、講師・講演内容を選定している。

(3) 福祉事業団体及び各地区労福協役員体制

■荒尾玉名・鹿本地区労働者福祉協議会

	役 職	氏 名	団体・組織
1	会 長	月足 武生	自治労（山鹿市職連合）
2	副 会 長	横田 一晃	JAM（シマノ）
3		森 真吾	電機連合（オムロン）
4		諸富 友木	自治労連（荒尾新市職）
5		木山 裕信	基幹労連（日立造船）
6		事務局長	入江 謙二
7	事務局次長 （財政担当）	勢田 昭一	教育ユニオン（高教組）
8	幹 事	木戸 昭二	JAM（ヒラタ）
9		坂口 智洋	自治労（玉名地区支部）
10		中原 祥一	九州労金；荒玉地区推進委員長
11		中林 北斗	九州労金；山鹿地区推進委員長
12		田邊 邦治	労金友の会；玉名
13		村井 康宏	労金友の会；荒尾
14		山田 光雄	労金友の会；山鹿
15		平岡 智洋	九州労金；山鹿支店長
16		高尾 文明	九州労金；玉名支店長
17		猪股 慎	ユニオントラベル熊本
18		中村 慶弘	こくみん共済COOP
19	書 記	入江 沙希	山鹿勤労福祉会館
20	会計監査	松本 幸宏	JAM（幡豆工業労組）
21		船津 孝浩	J P 労組（山鹿郵便局）

【5】雑学（トリビア）コーナー

夏の麺料理といえば・・・「そうめん」その名前の由来

「そうめん」は、小麦粉を原料とした日本および東アジアの麺の一つ。冷やして食することが多く、清涼感を求めて夏の麺料理として食するのが一般的である。

「そうめん」は中国から日本に伝わったとされ、室町時代の頃から文献にも登場しており、その頃に現在のような形になったとされる。ただし、庶民が食べるようになったのは江戸時代からで、それまでは寺院や宮中の宴会などで食べられていた。

「そうめん」は現在では漢字で「素麺」と書くことが多いが、これは当て字で、もともと「索麺」と書いていた。「そうめん」の起源は奈良時代に伝わったとされる中国の菓子「索餅（さくべい）」だとされる。

菓子の「索餅」は平安時代には七夕や盆の祭事などに食べられていたが、本来の「索餅」は小麦粉と米粉、塩の生地を切り、縄状により合わせ乾燥させたものである。「索」の字には「縄をなう」という意味がある。

「索餅」から「索麺」となり、「素麺」となった。「索」の字を崩して書いたのが「素」の字とみ

られ、「素麺」と誤記したものがそのまま名称になったとされる。読み方も「索麺」の「さくめん」→「さうめん」→「そうめん」に音が変化したとされる。

また、「そうめん」を煮たものを「にゅうめん」というが、これは「煮る麺（にるめん）」が「にゅうめん」に変化したという説がある。ちなみに、「そうめん」と「ひやむぎ」の違いはその太さで直径 1.3mm 未満が「そうめん」、直径 1.3mm 以上 1.7mm 未満が「ひやむぎ」と定義されている。

出典：雑学ネタ帳

【6】福祉事業団体の活動

以下の URL からご覧ください。

(1) 九州労働金庫熊本県本部

<https://kyusyu-rokin.com>

九州ろうきん

カーライフローン キャンペーン

キャンペーン期間
2023年8月1日(火)～2024年4月30日(火)

変動金利 **1.8%** 最大引下金利

年 **1.8%** ~年2.1%

保証料はろうきんが負担します！

■ご融資金額 [1万円以上1万円単位] ■ご融資期間

店舗受付 **1,000万円以内** **10年以内**

Web完結型 **500万円以内**

固定金利 **2.0%** 最大引下金利

年 **2.0%** ~年2.3%

保証料はろうきんが負担します！

カーライフローンについてくわしくはコチラ！

Web完結型カーライフローンについてくわしくはコチラ！

アプリからのご相談もOK！インストールはコチラ！

◎キャンペーン金利は、(一社)日本労働者信用基金協会の保証によるお申込み、かつ2024年4月30日までに受付し、2024年5月31日までにお借入(ご契約)した場合、適用となります。その他の保証会社でのお申込みはキャンペーン金利が適用されませんのでご注意ください。キャンペーン金利以外の借入条件(金利等)は、九州ろうきんホームページまたは店舗までご確認ください。◎キャンペーン期間中に完済金利が適用される場合がございます。◎ご融資金額は所定される条件により異なる場合がございます。

(2) こくみん共済 coop 熊本推進本部

<https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/kumamoto.html>

こくみん共済 NEWS **安心の保障と生活応援であなたの暮らしを支える**

2023年5月スタート

こくみん Life サポート

こくみん共済発売開始から40周年の節目に
これまでの感謝の気持ちを込めて、「こくみん Life サポート」がスタート!

安心の保障 / 保障設計サポート

一人一人に寄り添った
最適な保障設計をサポート

ご自身で **こくみん共済 coop のスタッフと**

アプリ WEB 対面 オンライン

NEW
アプリで簡単にお手続きが可能!

生活応援 / 生活設計サポート

組合員特典価格等でもしもの
事前・事後や生活全般をサポート

約18万種類のサービス

オリジナルメニュー 事前の備え 事後のフォロー ライフイベントのサポート

往診 ドライブレコーダー取付 介護相談 結婚祝い制度

さらに 週に1度のスペシャル特典
「**すご得!**」 サプライズ価格がぞくぞく登場!
毎週水曜日18時に
お得なサービスが更新されます!

※記載のサービスは一例で、画像はイメージです。

ご利用はアプリから

アプリをインストール マイページ登録後、IDとパスワードでログイン ログイン完了

アプリでできること **便利**

- 契約内容の確認
- ロードサービスの受付
- 加入・変更手続き
- 自動車事故の受付
- 共済金請求

(3) ユニオントラベル熊本

<http://unitora.com/>

(4) 秋津レークタウンクリニック

<https://akitsu-laketown.jimdofree.com/>

(5) ライフサポートセンターくまもと

<http://blog.rofuku.net/kumamoto-lsc/>

福祉のことなら何でもご相談ください。あなたの悩みに応えます。事業団体・産別の専門家が、労働問題他、福祉全般に亘って相談に応じます。

(6) 熊本県労働者福祉会館

<http://www.roukan.org/>

いつでも、だれでも利用できる会議室があります。会議、研修、講習会などでのご利用お待ちしております。

【7】事務局からひと言

今回は、過日テレビ朝日報道ステーションで放映された、「**【平和】を使わない世界にしないと**」100歳元特攻隊員から継承というインタビュー内容を報道ステーションホームページから引用させていただきました。《インタビューアー 大越健介アナウンサー》15日は『終戦の日』です。

戦争を経験した世代は、いまや1割に減少。その“記憶”をどう受け継いでいくかが課題となっています。茶道裏千家の前の家元・千玄室さん（100歳）。特攻隊員となるも、生き残り、その後、戦時中の自身の経験を国内外で広く語ってきました。

裏千家 15代家元・千玄室さん：「私は生き残った。生かされた。何のために生き残ったんだ。多くの戦友たち、亡くなった方々、二度と、こういう戦争がないように、皆が念願したんだと思う。そのために私は生かさせていただいていると思う」

千さんが海軍に入隊したのは、1943年のこと。兵力不足に陥った日本軍は、20歳以上の学生も徴兵の対象にします。“学徒出陣”です。ちょうど大学生だった千さんも、その荒波に巻き込まれていきます。待っていたのは、厳しい訓練でした。

裏千家 15代家元・千玄室さん：「（鉄拳制裁を）やられた、やられましたよ。飛行訓練をやっているときに報告しますよね。爆音がばーっと、他の機が回っている。『声が小さい』『菌、食いしばれ』ばーんと」

そして、千さんが命じられたのは無情にも“特別攻撃隊”、特攻隊でした。

裏千家 15代家元・千玄室さん：「ただいまから皆に紙を渡す。『諾』か『否』か、どっちか書けと。名前書かないといけん。『否』とは書けないですよ。私は『熱望』って書いて、二重丸したんです。嫌とも何とも言えません。命令ですよ」敵の艦隊に、飛行機ごと体当たりする。想像を絶する任務を前にしても、誰も逆らえない状況になっていました。

忘れられない記憶を残した写真があります。仲間たちにお茶をふるまう千さんの姿です。出撃命令を受け、死が目前に迫るなかで開かれた“最後の茶会”では、青年たちの思いがあふれ出したといいます。

裏千家 15代家元・千玄室さん：「一緒に皆にお茶を点てて、最後に皆が『おかあさん』って故郷のほうに向いて呼び出した。10人くらいいましたね。『おかあさん』って。私も一緒になって呼びました」

今も頭から離れない仲間の一言。

裏千家 15代家元・千玄室さん：「『千なあ、俺なあ、帰ってきたら、お前のとこの本当の茶室で茶飲ませてくれや』と言われたときに、もう死ぬのやと思ってたけど、特にぞくっときたんですよ。そうや、もう帰れないのや」

特攻で失われた命は約6000人。多くは、10代・20代の若者たちでした。仲間も次々と散っていくなか、千さんに出撃命令が出されることはなく、戦争は終わりました。

裏千家 15 代家元・千玄室さん：「（Q. 帰られてから思い出すことは多かったですか）もう毎回、戦争の話はするのが嫌でした。でも（同期の）14 期会が結成されて、生き残りが集まってきた。初めて、そこで体験談を話さなきゃいかん。あいつも死んだ、あいつも死んだ、ああ…って言ってね。皆、肩寄せて泣きましたよ。私たちは、何のために引っ張り出されたんやと。お国のため、お国のためって、皆そんなこと思ってません。親が、子が、皆、幸せになるように。

『平和』という言葉を使うの嫌なんです。『平和』を使うことは、戦争とか無残な殺し合いがあつてこそ、『平和』って言葉を使うでしょ。それがなかったら『平和』という言葉、使いませんよ。どんなに謝っても、どんなに慰霊しても、戻ってきません。平和っていう言葉を使わない世界にしなければい
かんです。

今年は戦争が終わって78年。何年、何年っていうよりも、戦争がいかに人類を墮落させていくか。こんなものあっちゃいけない。止める気持ちを皆が持ってくれたら、いい語り部になって、次々と世代に受け継いでいただきたい。なかなか、こういう話できませんので、私の最後の遺言として、伝えてい
ってください」

今、世界では、ウクライナをはじめ、紛争が絶えません。

《県労福協からのお知らせ》

- **「借りてる方も これから借りる方も もう悩まないで奨学金返済 Q&A」**
中央労福協が標記の冊子を発行しました。返済に困っているあなたへ法律のプロが寄り添って解説している冊子になっています。是非読んでみたいという方は、県労福協にご連絡ください。また、中央労福協 HP からダウンロードできます。サイトがわからない場合も、県労福協にご連絡ください。

是非アクセスを

Amazon「みんなで応援」プログラムご存じですか。Amazon.co.jp を通じてサポートできるプログラムです。それぞれの支援先が作成した「ほしい物リスト」から商品を購入すると簡単に物資の支援が行える仕組みになっています。

[Amazon.co.jp](https://www.amazon.co.jp): [九州・沖縄地方への支援: Amazon「みんなで応援」プログラム](#)

いまこそ
労福協の力を

「持続可能な社会をめざして」「誰ひとり取り残さない社会をめざして」そのような
思いでふれあい通信を継続していくことができれば・・・

福祉はひとつ

ご意見、ご要望をお聞かせください。

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会

〒862-0976

熊本県熊本市中央区九品寺 1 丁目 17-9

TEL 096-375-6029 FAX 096-375-6030

E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp